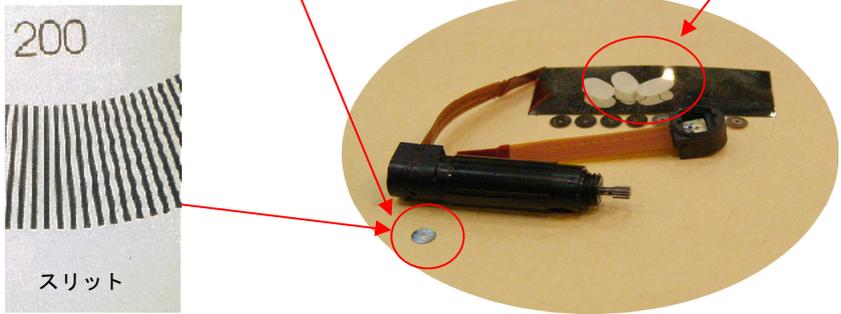
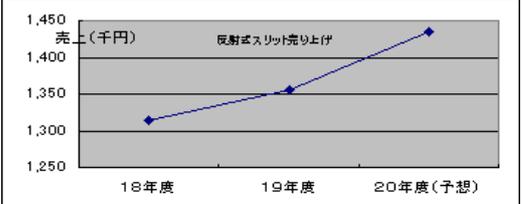


特別賞

株式会社健正堂

<p>名 称</p>	<p>「反射型光学式エンコーダー用部品とその製法」</p>								
<p>概 要</p>	<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ F A工作機械など多くの産業で使用される、モーターの回転数や位置を光センサで検出する光学式エンコーダー用部品である金属材料による『スリット』。 ・ めっき法で作成したニッケル／銅／ニッケル三層のうち、表面にあるニッケル膜を選択的にエッチングし、露出した銅の表面だけを酸化（黒化）処理して非反射層を形成し、ニッケル表面の反射層とで『スリット』を構成。 <p>（例）下記右側の写真は直径6mmのモーターに採用された例。左下の金属が今回開発した『<u>反射式スリット板</u>』外径 2.6mm 奥にある白い粒は、<u>新潟産コシヒカリ（3粒）</u>。</p>  <p><新規性（従来技術との違い）></p> <p>近年電子部品の『軽薄短小化』要求が加速している。従来は、発光素子、受光素子を金属製スリットの両側に設置しスリットを透過する光の明暗を感知していたが、小型化に障害があった。そこで、発光素子を片面に備えて反射する光を感知する部品が開発されたが、使用されるスリットはプラスチックにアルミニウムを蒸着させたものであり、使用環境の制限や耐久性・耐湿性に問題があった。</p> <p>そこで、これらの問題を解決し、耐久性・耐湿性に優れた省スペース型の反射型エンコーダー用部品を実現したのが今回の技術である。</p> <p><市場性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽薄・短小化に最適であり、今後産業用ロボットから家庭用ロボットなどモーター及びその周辺機器の市場はさらに拡大していくことが予想される。 								
<p>用途 (利用・使用実績等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な用途は『ロータリー（一部リニア）エンコーダー』用スリット。 ・ 開発当初からのユーザーには現在も供給中。  <table border="1"> <caption>反射式スリット売り上げ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>売上 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>1,310</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>1,350</td> </tr> <tr> <td>20年度(予想)</td> <td>1,440</td> </tr> </tbody> </table>	年度	売上 (千円)	18年度	1,310	19年度	1,350	20年度(予想)	1,440
年度	売上 (千円)								
18年度	1,310								
19年度	1,350								
20年度(予想)	1,440								

<p>所在地</p>	<p>〒350-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-34</p>		
<p>電 話</p>	<p>0493-56-4771</p>	<p>F A X</p>	<p>0493-56-4649</p>
<p>U R L</p>	<p>http://www.kenseidou.co.jp</p>		